

第3回

中央公園・せせらぎ遊歩道

WORKSHOP NEWS ワークショップニュース

日時：平成27年3月8日(土) 10:00~12:00
 場所：アステ川西6Fアステ市民プラザマルチスペース2
 出席者：20名 (他市6名、コンサルタント6名)



このたびは「平成26年度 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップ」にご参加・ご協力いただきありがとうございます。
 第3回ワークショップは、今年度の最終回のワークショップであり、これまでの意見交換を踏まえて、「中央公園・せせらぎ遊歩道の具体的な利活用の内容について考えよう!」をテーマに開催しました。会議では、「イベント」、「自然観察・体験、子どもの遊び、文化歴史学習」、「魅力向上、みんなの公園を美しく」の個別テーマごとに4つの班に分かれ、どんな活動をだれがどのようにやっていくといいのか、そのためにどんな取り組みが必要かなどについて皆さんで意見を出し合いました。その内容をまとめましたのでご覧ください。
 また、参加者の皆様、大変お疲れ様でした。貴重なご意見等、ありがとうございました。

ワークショップってなに?

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。



ワークショップの流れ

これまで2回の開催内容をおさらいしながら、今回のワークショップの目的と内容についてファシリテーターから説明を行いました。



テーマ毎でグループ分けを行い、4つのグループに分かれて意見交換を行いました。



話し合った内容について発表を行いました。また、全体としてのまとめを全員で確認しました。



おわりのあいさつを行いました。次年度に向けても継続的な取り組みを進めていくことや、市民の方からは「プレーパーク講座が始まることなどの情報提供も行っていただきました。



各班の成果

中央公園・せせらぎ遊歩道の「具体的な利活用の内容」について各班ごとに意見を出し合い、最後に発表を行いました。

A班 (5名)

B班 (4名)

C班 (5名)

D班 (6名)

[主な意見] テーマ“イベント”

活動案	活動の主体	課題等	時期
特産品販売	市産業振興課、JA、商工会	農業生産者の協力	4回/年
音楽会コンサート	小・中・高・大学生、アマチュアバンド	機材、電源、予定管理、騒音対策	年間
婚活・恋活	青年団体	飲食店の協力、市役所による広報	2回/年
防災訓練	消防署、警察、地域の消防団	かまどベンチ等に使い慣れる	1回/年
転ばぬ先のストレッチ教室、体脂肪を燃やすウォーキング教室	市民	イベント名を明確にすると参加しやすくなる	春、秋
写真、絵画コンテスト	市民の参加と市民による審査	市役所ロビーへの展示や市役所による商品の協賛	2回/年
イルミネーションコンテスト	市民	公園や遊歩道を対象	冬
その他	各地域の公民館等による告知		

[主な意見] テーマ“イベント”

活動案	活動の主体	内容
川西音頭	13地域が主体	芝生広場で実施 お盆に実施
演奏会	市民	野外ステージを活用 出来るだけ回数を多く
健康をテーマ	市民、行政、地域の部会	大声大会 体操コンテストなど
フリーマーケット、手作り市、食のイベント	行政やNPOによる実行委員会	天王寺区で開催事例がある
川西バル、模擬店	飲食店、商工会、実行委員会	伊丹市は全国一
野球、グランドゴルフ	NPO	ルールづくり、備品用意が必要
防災訓練	行政	
課題等		・イベントを立案する力やPR力が必要 ・過ごしやすい春や秋での実施がふさわしい

[主な意見] テーマ“自然観察・体験、子どものあそび、文化歴史学習”

活動案	活動の主体	内容
弁当の日	市民 (雇用も含めて考える)	子どもたちとクッキング
木の面白さ体験		西島さんに頼んでみる
野菜作り		せせらぎの水辺を活用
花摘み		クローバー、レンゲ
プレーパーク	市民 (雇用も含めて考える)	自然の中での自由な遊びの展開
生物、植物博物館		川西の里山、水辺の観察
ピクニック		芝生エリアで実施
記念植樹		交流の場として利用
距離標、サイン		川西の歴史を学ぶ
課題等		・予算をつける ・企業や学校のバックアップ、ボランティアだけでは継続は難しい ・市民が意見を出せる公園運営 ・継続的なイベント ・連携する団体として地域で活動する団体が7-8団体ある ・小規模な企業をまとめる団体が必要 ・市の中に「公園管理課」をつくり窓口業務を行う。シルバー人材センターに課を設置してはどうか。 ・維持管理のための人材の雇用 ・パークマネジメントをする組織づくり

[主な意見] テーマ“魅力向上、みんなの公園を美しく”

活動案	活動の主体	内容
清掃活動	企業、NPO、イベント参加団体	企業やNPOが参加する仕組みづくり 多ければ多いほど公園がきれいになる
花壇活動	高齢者	「花の講座」勉強会を実施し、人集めを行う
独身が集まる	市民	楽しい仕掛けづくり
蛍イベント	市民	公園内や周囲の電気を消す。防犯対策イベントをかねる
映画上映	市民	体育館の壁活用、テント活用
課題等		・アイデアだけは40歳以下、60歳以上は若い人の話を聞き、調整役とする。 ・場所や時間の調整として統括する運営組織が必要。行政への手続きの代行などがあるとイベントへの参加がしやすくなる ・運営組織は有給であるべき、その仕組みづくりが必要。若い人で構成されることが理想。

ワークショップ後のひとこと感想(一部)

健康イベント...きんたくん(川西市)体操をとりにいれてはどうでしょうか。さつまいもの栽培...近大の先生が提唱されている立体栽培にも挑戦してみたいです。幼児向けの平場と両方あればいいと思います。/次年度のスケジュールイメージがあるといいなと思いましたが、最後酒本さんの「プレーパークのように個別で離陸できるものか...」と言ったのがよいなと思いました。/だんだん形が見えて来てとても楽しみです。若い方たちに次をまかせてお手伝いをしてほしいです。/構想図を見る限りなかなか立派な公園ができる様楽しみにしています。川西市の評判アップにつながる公園にしたいものです。/各班とも管理・運営に関する懸念していることが分かって良かったと思います。子どもの遊びについて考える場合、YMCAとかと連携するのも良いのではないかと思います。/イベントやプレーパーク等を活動するにあたり運営・管理を行う組織(NPO)を立ち上げることが良いと思います。植木や清掃などもNPOが軸になって実施を考える。/公園の運営についてうまく運営してくれる会社を行政とコンサルが見つけてほしい、とか、若いひとが集まるイベントをしてほしいけど、そのイベントを若い人が考える時間はない(忙しい)から、その運営会社が考えてほしい...とか、他人事のような意見ばかり出ていたように感じました。まだどこもやっていない、新しい挑戦を「自分たち」がやっていくんだ!という思いで話し合いがしたかったです。/運営組織について企業が良かったと言いましたが特にこだわっているわけではありません。/市役所だけで考えるだけでなく、市民の声が沢山聞けてとても参考になりました。 など

ワークショップのまとめ

多種多様な公園、せせらぎ遊歩道の利活用提案がなされた。活動主体は市民やNPO、地域団体が核となるべき。また、企業や学校、商工会等との連携や行政の支援も重要である。イベント開催はNPOや行政により実行委員会を構成し進める方法もある。広報、周知も大切。さまざまな公園での活動を調整管理していく公園管理運営組織が必要、人材の雇用も検討すべき。公園利活用のルールを決めてみんなが仲良く楽しく使えるようにする。市民が意見を出せる公園運営を期待したい。また、公園運営に若い層の意見、活力、アイデアを取り込んでいくとよい。

これらの考え方を次年度以降の取り組みに活かしていきます。

次年度に向けて
 次年度も公園管理運営におけるワークショップや公園建設現場の見学会、勉強会などを開催する予定です。ご参加をお待ちしております。

<お問い合わせ先>
 川西市中央北整備部
 中央北推進室地区整備課
 担当：北野、半田、藤田

TEL : 072-740-1207
 E-Mail : kawa0193@city.kawanishi.lg.jp

